

「第2期潮来市学校適正化計画」についての各地区説明会（潮来第一中学校区） 会議録

○日 時 : 令和6年5月28日（火）19:00～20:15

○場 所 : 津知公民館2階 大ホール

○出席者 : 50名

○議事録

1. 開会

2. あいさつ: 教育部長

3. 説明

「第2期潮来市学校適正化計画[概要版]」

- 計画の背景と目的
- 潮来市の小・中学校の状況と推計
- 小・中学校の規模及び配置に関する基準
- 小・中学校適正化の方向性の見直し
- 小・中学校の適正化方策
- 年次計画

4. 質疑応答 ※（ ）は事務局の考えを示したものです。

事務局: 本計画についてご質問等ある方は挙手をしていただいた上で、氏名、所属等を言って質問してください。

A 氏: 少子化ということで小中学校が統合されるということは分かりますが、潮来小と津知小の統合について、防災的な部分は何も考えられていないと思います。駐車場が不足することや水害のことを考えると、校地は津知小が適していると思います。特に、水害の際は下津知の約1,000世帯は津知小に避難するほかありません。避難場所の確保という面からみても、校地は津知小が適任ではないでしょうか。

事務局: 貴重なご意見ありがとうございます。避難所についてですが、体育館を残して避難所として使っていく方法もあるかと思います。

注) 閉校した学校のうち、大生原小、牛堀二小、八代小の体育館が避難所に指定されています。

B 氏: ① 今回の説明会について、親への周知メールによる連絡のみで市ホームページにも掲載されていない。

② 津知小跡地での保健所建設の話が事後報告なのはなぜか

事務局：① 市のホームページに上げていないということですが、５月１日付で掲載しています。また、５月２６日発行の広報いたこ情報版にも掲載しています。

② 保健所に関しては、担当部署が違うためお答えする内容を持ち合わせておりません。

C 氏：茨城県は、不登校発生率日本一です。これは、茨城県が統合を推し進めたためです。秋田県等は、小規模校を守る施策を行っており、学力テストで日本一になっています。大規模校になることによって、子どもにとっては先生に面倒を見てもらいづらい学校に、教員にとっては負担の重い学校になります。

事務局：（統合に関してメリット・デメリットが存在することは承知しております。統合により人数が増えることで、人間関係の固定化を防いだり、子ども達の社会性やコミュニケーション能力を向上させたりできるなど、メリットの方が大きいと考えます。）

D 氏：① 津知小は立地がとてもよい、校地は潮来小より津知小がよい

② 少人数の方が、先生の目が行き届きやすい

事務局：① 校地については、統合準備委員会において様々な観点から総合的に考えた上で潮来小に決定されたものです。

② 少人数学級のメリットもありますが、人数が増えることにより人間関係の固定化を防いだり、多様な意見に触れる機会を増やしたりできるなど、生活面でも学習面でもメリットが大きいと考えます。

E 氏：Aさんがおっしゃったように、防災の面からみても潮来小は立地が悪いと思います。また、統合準備委員会が作られて何回も議論を重ねているのに、過去の議事録を読んでもみると、「事務局方針です。」の一言で決められてしまっているように感じます。意見の聴取を繰り返してほしいです。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。

（校地については、前述の通りです。統合準備委員会の構成員には、両校の校長、教頭、教務主任、PTA役員、保護者代表等、様々な立場の方がいらっしゃいます。その方々のご意見を集約した形で協議を行っております。その中で、事務局案として提案を行うことはありますが、事務局の一存で方針を決定しているものではありません。）

F 氏：統合準備委員会で通学路部会を担当していますが、昨年１１月２１日以降開催されていません。それによって、生の声が届きづらくなっています。統合準備委員

会等で決定した事項について、ホームページに載っているというが、毎日ホームページをチェックしている人はいないと思います。生の声が届けやすい環境を作ってください。また、PTA向けの説明会も話が止まってしまっているので開いてください。

事務局：統合準備委員会の各部会については、各委員の方々に結果を伝達できる体制を構築してまいります。また、統合状況について広く広報してまいります。

G 氏：教育においては、環境が大切です。津知小は環境が整っているのに、校地が潮来小なのはなぜですか。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。
(校地の選定については、前述の通りです。)

H 氏：潮来一中と牛堀中が令和8年度に統合を目指すとのことですが、準備期間が1年半くらいしかないのに間に合うかが心配です。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。延方小と徳島小、延方小と大生原小、どちらの場合も準備期間は約1年半でした。今回も準備期間は約1年半から2年です。統合準備委員会や統合準備委員会の各部会を設置して丁寧な説明をしながら、令和8年4月の統合を目指します。

- I 氏：① 中学校は一校化だが、小学校は津知小のみが統合となっている。小学校と中学校の統合の扱いが違うのはなぜか。
- ② 2月20日の統合準備委員会で、津知小の潮来小への統合や校名について決定しているという形になっていた。いつの段階で決まったものか。

事務局：① 小学校と中学校の統合の考え方についてですが、これらは児童生徒数の推計を基に作ったものです。5年間の計画なので、5年間はこの形でいくということです。また、牛堀中も統合を急ぐ必要があります。現在の潮来一中の校舎は1学年4クラスを想定しています。牛堀中が潮来一中に編入したとしても、校舎の改築等の必要がなく、スムーズに統合ができます。

② 潮来小と津知小統合後の校名等については、令和6年2月20日開催の第4回目統合準備委員会で決定しています。

- I 氏：① 津知小の潮来小への統合は、決定済みという認識か。
- ② 校名については、どの段階で決まったことなのか。
- ③ 津知小以外の小学校を残すのは、配置の基準に基づいてか。

事務局：①② 令和6年2月20日の統合準備委員会において決定しています。

③ 人口推計と小中学校の適正規模の基準等を基に小学校数を決めていきます。

また、当計画は2024～2028年のものであるため、2028年以降については今回の計画で示されておりません。

A 氏：津知小の跡地利用について、津知地区住民の意見を集約して考えるということは可能ですか。

事務局：跡地利用については、市長公室の担当になります。他校の跡地利用としては、八代小跡地への医療機関の立地が決定しています。

津知小跡地については、これから検討されます。地元の声については、市長公室にお伝えします。

J 氏：令和3年度にあった統合に関するアンケートについて、津知小保護者の大半が反対でした。その後、検討委員会で話し合いがされ、統合が決定したと思いますが、その時に保護者に対する説明がありませんでした。今年度に入り、保護者への説明が4月20日にありましたが、質疑応答はありませんでした。保護者に対する説明をもう少し丁寧に行ってください。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。ホームページによる周知だけでは不十分であったと思いますので、今後、保護者の皆様や統合準備委員会、統合準備委員会の各部会の皆様に対して丁寧に説明を行ってまいります。

C 氏：統合についての事項は、こども基本法でも規定されています。

事務局：第2期潮来市学校適正化計画策定時に、児童生徒、保護者、教員に向けて各種アンケートを実施しております。ご意見については十分に集約しながら進めてまいります。

注) こども基本法第11条には、「国及び地方公共団体は、こども施策（こどもに関係する施策）を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。」と規定されています。

5. 閉会